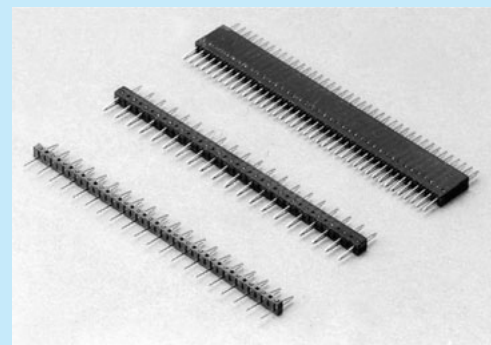


## プリント板二段重ね用コンスルーシリーズ〔XBシリーズ〕(1パック10本入)

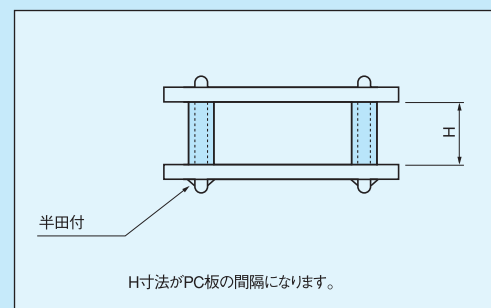
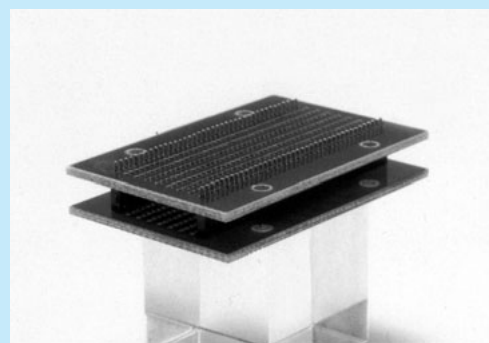
PAT

- ピッチは1.27、2.54mmがあります。
- 1.27mmピッチは最大40P連結、2.54mmピッチは最大20P連結
- 材質  
ピン部…ベリリウム銅 ニッケル下地金メッキ  
樹脂部…LCP樹脂黒色 (UL94V-0)
- リフロー対応型
- 定格電流…1A
- 定格電圧…125V AC,DC
- 接触抵抗…30mΩ以下
- 絶縁抵抗…500MΩ以上
- 絶縁耐圧…1000V、AC、DC1分間
- プリント板適合スルーホール穴…0.8~0.9φ TH仕上り径  
(コンタクト側) (0.85φ中心に作って下さい。)
- プリント板適合板厚…0.8~1.6t
- 使用温度範囲…-40~+125℃
- 使用湿度範囲…0~85%RH (但し結露しないこと。)
- 使用回数…50回以下 (同一スルーホール穴に対して)
- 挿抜力 (1ピン当り)

スルーホール穴	挿入力	抜去力
0.8φ	200g以下	50g以上
0.85φ	150g以下	30g以上
0.9φ	100g以下	20g以上



## ■使用例



品番	H	P
XB-1-1	1	1.27
XB-1-1.5	1.5	1.27
XB-1-2	2	1.27
XB-1-2.5	2.5	1.27
XB-1-3	3	1.27
XB-1-3.5	3.5	1.27
XB-1-4	4	1.27
XB-1-4.5	4.5	1.27
XB-1-5	5	1.27
XB-1-5.5	5.5	1.27
XB-1-6	6	1.27
XB-1-7	7	1.27
XB-1-8	8	1.27
XB-1-9	9	1.27
XB-1-10	10	1.27

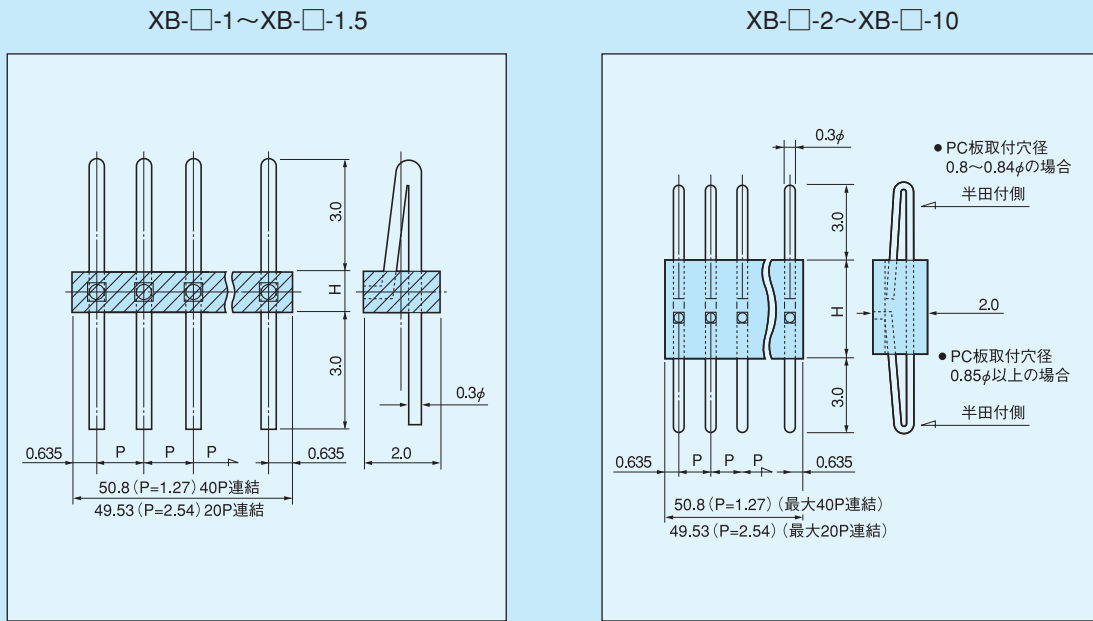
品番	H	P
XB-3-1	1	2.54
XB-3-1.5	1.5	2.54
XB-3-2	2	2.54
XB-3-2.5	2.5	2.54
XB-3-3	3	2.54
XB-3-3.5	3.5	2.54
XB-3-4	4	2.54
XB-3-4.5	4.5	2.54
XB-3-5	5	2.54
XB-3-5.5	5.5	2.54
XB-3-6	6	2.54
XB-3-7	7	2.54
XB-3-8	8	2.54
XB-3-9	9	2.54
XB-3-10	10	2.54

※292ページの使用上の御注意を読んで御使用下さい。

## ■使用上の御注意

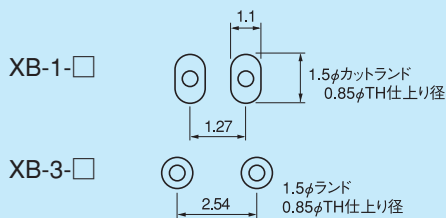
- 抜き差し側が銅スルーホール基板には使用出来ません。(銅の酸化が早い為)

## ■寸法図

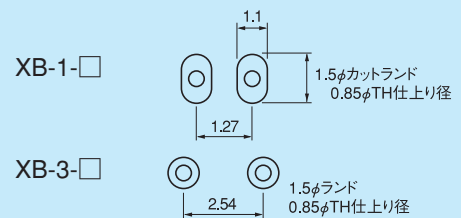


## ■推奨ランド径

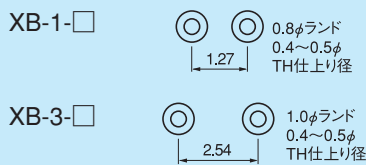
- XB-□-1~XB-□-1.5
  - コンタクト側



- XB-□-2~XB-□-10
  - コンタクト側、半田付側



- 半田付側

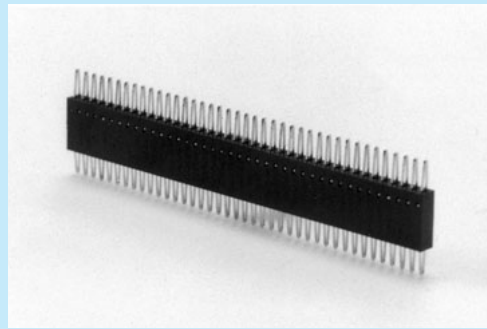
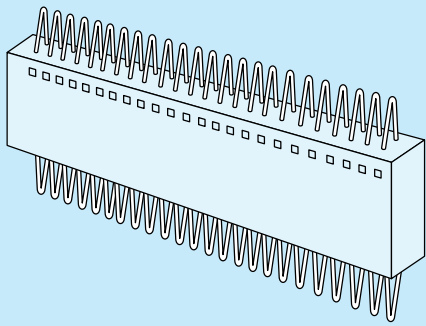


## ■御注文方法

XB-3-3-10P



御希望の極数を入れて下さい。(極数指定なき場合は最大極数で納品致します。)



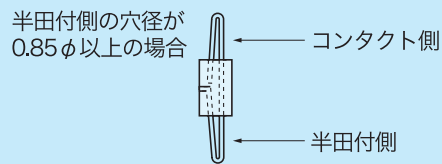
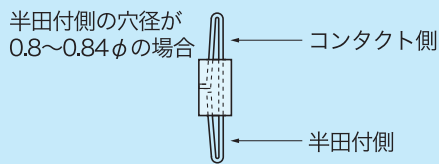
## ■コンスルーシリーズ使用上の御注意

1. プリント基板適合スルーホール穴… $0.8\phi \sim 0.9\phi$  TH仕上がり径 ( $0.85\phi$  中心に作って下さい。  
(半田付側、コンタクト側共) [PC板下穴キリ径 $0.95\phi$  (メッキ前) (参考値)]
2. スルーホール穴処理……………①ホットエアレベラー、半田レベラー、ソルダコーター、SC法によるプリント配線基板 (右記①、②どちらかの基板)
  - メッキ厚…銅メッキ $20\mu$ 以上
  - 半田メッキ $3\mu$ 以上 (6:4共晶半田)
  - ②金メッキ…銅メッキ $20\mu$ 以上
  - ニッケルメッキ $3\mu$ 以上
  - 金メッキ $0.05\mu$ 以上

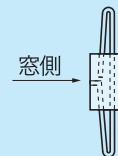
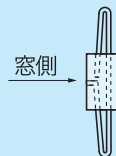
3. スルーホール穴に付着したフラックスは完全に除去して下さい。
4. 挿抜回数は、同一スルーホール穴に対して、50回以下で御使用下さい。
5. 結露しない場所で使用のこと。
6. 半田付側とコンタクト側を間違えないようにして下さい。

■抜き差し側が銅スルーホール基板の場合は使用出来ません。  
(銅の酸化が早い為)

以下XBシリーズ



7. 2個以上使用する場合は同一方向に立てて下さい。

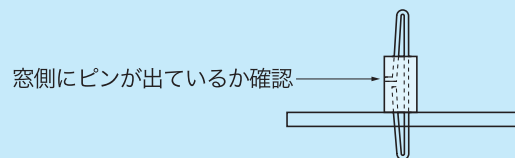


★出来るだけ、この向きで使用して下さい。

窓側を同じ方向にして下さい。

8. 半田付側をプリント基板に挿入後、窓側にピンが出ているかどうか確認して半田付して下さい。(PC板穴径小さい場合、挿入時、樹脂よりピンが抜ける場合があります。)

●反対側に取付けた場合は、確認不要です。



9. 半田付側にピンを挿入する時、ピン上部 (コンタクト側) を持って挿入しないで下さい。又、挿入後、ピン上部を押し整列しないで下さい。(コンタクトするPC板の穴径が $0.8\phi$ に近い場合、ピンの引っかかり部が窓に引っかかってスプリングの戻りが悪くなる場合があります。) 樹脂を持って挿入して下さい。(反対側に取付けた場合は関係ありません。)

